



「ライン河畔より」 「舟の右側に網を打ちなさい。そうすればとれるはずだ。」

ヨハネによる福音書 21 章 6 節



ホームページ <http://www.ryokosasaki-missionary.com>
ケルン・ボン日本語キリスト教会ホームページ
<http://www.ryokosasaki-missionary.com><http://koelnbonn.jp/>
佐々木良子宣教師ドイツ連絡先
Breslauer Str.26. 50858 Köln Germany Tel : +49 1512910 6278 E-mail: r310130s@yahoo.co.jp

ご挨拶 Guten Tag! 主の聖名を賛美いたします



イエス様の十字架上の苦しみを思うレントの中ですが、自然界では春色の小さな花が顔を出し枯れ木が芽吹き、命みなぎる季節がやって参りました。一年の月日がアツという間に巡り、歳月の流れの早さを痛切に感じるこの頃です。皆様においては如何お過ごしでしょうか。

いつもお祈りと共に尊いお献げものをもって、宣教の業に加わって頂き心よりお礼申し上げます。ケルンに派遣して頂いて6年目を迎えようとしています。当初は3年間の予定で送り出して頂きましたが、多くの方々のご理解とお支えを頂いて、延長されたかけがえのない日々を噛み締めながら歩んでおります。昨年から続くコロナ禍にも拘わらず、心を寄せてくださっている皆様の深い思いに対して、どのようにお応えしたらよいかと、主に祈り求める毎日です。

毎年3月は、宣教報告のために日本に一時帰国させて頂いていますが、今年は断念せざるを得なくなりました。そこで、支える会の委員の方々からご提案を頂き、YouTubeによる近況報告、という新しい道が開かれました。初めての取り組みで、試行錯誤しながら教会の方が心を籠めて編集してくださいました。私も含めて、教会の皆様も初めてビデオを自撮りしましたが、無事に収録できホッとしています。教会の方曰く、「コロナ禍の落とし子とでも言うのでしょうか、このような新しい交わりの可能性が出来た事が不思議で、また感謝しています。支える会の皆様に私たちの想いが伝わることを期待しています。」との事です。YouTube作成を通して、教会の皆様と一緒に一つのものを創り上げてゆく喜びと充実感を味わうことができ、そして、改めてこの教会に遣わされた幸いを感じています。

※ YouTubeのご案内は、最後のページの会計報告の下に記載してあります。

毎年訪問させて頂いている日本のある教会では、3月を「ケルンでの働きを覚える月間」として教会全体で祈ってくださるといふ、思いがけない嬉しいご連絡を頂きました。日本への一時帰国の道は閉ざされましたが、「万事が益となる」という体験をさせて頂き、ドイツに留まった故のお恵みを数えながら過ごしているこの頃です。

昨年からのコロナ禍の為に大きな変化のあった年となり、この世の大きなうねりの力に流されそうになる弱い自分との闘いだったように思います。心も身体も萎縮していることに歯がゆさを感じていましたが、コロナだから仕方ないと諦め、言い訳をしながらの毎日でした。しかし、オンラインで視聴した新年聖会の中で「コロナだからと言い訳をしていないか？」との問いかけに、ガツン！と、頭を叩かれたような感じがしたと同時に、暗雲立ち込めていた空気は一掃されました。「ねばならない」という、重く引きずられる思いから「さあ！」と前向きにシャキッとなり、悔い改めの祈りへと導かれました。頑なになっていた心が打ち砕かれました。

「しかし、神の求めるいけにえは打ち砕かれた霊。打ち砕かれ悔いる心を 神よ、あなたは侮られません。」(詩編 51 篇 19 節) 主は人を通して働いてくださいます。いつの間にか頑な心に支配され、自分ではどうすることもできない時に、叱咤激励して下さる廻りの方々の助けが必要です。どうぞこれからもこの者の働きを覚えて、お支え頂けますようお願いいたします。 **Viel Glück**



イースターモード
ヒヨコではなく「ウサギ」



ドイツの状況

昨年 11 月初めにレストランなどを皮切りに、12 月半ばからは商店等も閉鎖し本格的なロックダウンに入りました。現在欧州では変異ウイルスが拡大し急激に第3波が襲っているため、3月末迄4回目の延長の最中です。しかし、2月下旬から各州の判断で学校を再開し、3月8日から感染者数に応じて段階的に制限を緩和されてゆくとの事です。小売店や屋外イベントなどの再開を順次許可され、昨年の封鎖措置を導入して以降、初めての大規模な緩和となるようです。早ければ3月22日から屋外の飲食店や劇場などの営業を認められる予定です。更に私の近辺ではコロナワクチン接種を2回無事に終了された方々もおられ、緩やかに新しい世界が開かれているように思えるのですが・・・

一方、美容院が4ヵ月振りに営業再開となり、予約殺到で3週間待ちのようです。メルケル首相も我慢の時だったようで、先日はテレビでスッキリとしたお姿を拝見しました。国のトップが国民と同じように歩まれるその姿勢に胸が熱くなりました。しかし、今秋には完全に政界から身を引かれるので残念に思います。9月の総選挙の行方を見極める重要な2州で州議会選挙が3月14日に行われ、メルケル首相率いるキリスト教民主同盟(CDU)が、大敗する見通しとなりました。政治に疎い私ですがCDUには頑張ってもらいたいと思われています。CDUが弱体化してゆくと、国民の更なる教会離れが懸念されます。しかもコロナ禍でドイツ国教会会員の教会離れが憂慮される状況です。

ケルン・ボン日本語キリスト教会 (KB 教会) より「支える会の」の皆様へ 役員 藤井隼人



主の聖名を賛美致します。

受難節に入って2週目、私共はコロナ禍にあっても日々平静を保ち感謝しつつ1年を過ごして参りました。

このコロナ禍の1年間は、佐々木良子先生にとってチャレンジの連続だったろう、と思います。当地プロテスタント教会のコロナ対策に合わせて、各地に分散して住むKB教会礼拝参加者一人一人に心を配り、礼拝の方法を編み出して下さっています(現在も進行中)。我々老人も促されて僅かずつでも前進し、想像を超えて恵まれたコロナ禍の信仰生活です。

佐々木先生は万事に前向きで明るく、新しいアイデアが次々と生まれます。この先生と共に続けて行きたいという私達の希望を『支える会』が叶えて下さり、更に3年間(2025年3月末まで)先生の任期を延長して頂きました。コロナ禍という想像もつかない程困難な状況の中で、私達は佐々木先生の更なる任期延長のお願いを申し出たこととなります。

KB教会はとても専任牧師をお招き出来るような規模ではなく、特に近年多くの方々が日本へ本帰国されたり、遠方に移住されたりして、常時礼拝参加者は10人前後に減少しています。5年前に佐々木良子先生がケルンに来て下さったとき、私は奇跡が起こったと思いました。こんなに条件の悪い所に、最高・最適の方(妻と母のご経験もあり、悲しみ・痛みわかる人)が神によって与えられた、と確信しました。

しかしその後間もなく、我々に佐々木先生が与えられたもっと大きな意味がはっきり分かって来ました。若いお母さんたちへの伝道です。佐々木先生は、静かな住宅地のスーパーで、街角の信号待ちで、次々と日本人の若いお母さんと知り合い友達に。彼女たちの家庭を訪ねたり、招いたり、果てはベビーシッター、料理人。これは、女性牧師にのみ可能でした。

元々は、せめて将来教会センターを持ちたいとのビジョンから始まった積立金を、佐々木良子先生との伝道に使う、高齢化が急激に進んでいるKB教会の現状を考え、今こそ出来ることを試み、主の私達への期待、御旨を問う時ではないかという思いを与えられました。

佐々木良子先生を送り出して下さった、謂わば育ての親のような皆様にとって誠に予想外の成り行きであろうかと思えます。過去5年間を通じて、先生とKB教会に寄せられ続けている、あらゆる形(物心両面)でのラブコールを通して、皆様にとっての佐々木先生の大切さをひしひしと感ずると同時に、伝道者を支える態度を『支える会』の皆様から学び、この先生を支え、喜んで共に前進したいと願っております。合計9年間もの長きに亘り佐々木先生を派遣し、支えて頂く恵み。言葉では言い尽くせない感謝を主と『支える会』の皆様捧げます。皆様の上に主の御祝福が豊かにありますように。

スカイプの恵み

昨年3月、私が宣教報告のために日本へ一時帰国していた時、ドイツでは初めてロックダウンが導入されました。それ以来、礼拝を含めて全ての集会をスカイプに切り替えて現在に至っています。一時は会堂礼拝とスカイプ同時配信を行いましたが、会堂内の厳しい規制や教会員の方々の安全等を考慮して、スカイプ礼拝が主流となっています。

スカイプによる教会生活の1年間を振り返ると、数々のメリットが挙げられますが、一番の恵みはお互いの交わりが深くなったことです。正に「身を寄せ合っている教会」という言葉がピッタリします。昭和の古き良き時代の大家族のような感じ。現住陪餐会員が14名という、小さな群れの特権を最大限に生かしているように思います。

スカイプ礼拝のご紹介

1. 礼拝開始10分前位に各自が三々五々スカイプに入ってきます。
2. ビデオと音声をオンにして、パソコンを通してお交わりをします。
3. 礼拝時間になると、司式・奏楽者以外は、礼拝終了までビデオとマイクをオフにします。
4. 会衆はパソコンから聞こえてくる奏楽者のピアノに合わせてご家庭で各自賛美をします。
5. 司式者が聖書朗読、主の祈り、使徒信条を代表して拝読します。
6. 説教の際、牧師はカメラ・マイクをオンにします。会衆はビデオをオフにしている為に、ひたすらパソコンに向かって語ります。
7. 最後の報告が終わると、全員がビデオ、マイクをオンにして、近況報告、祈りの課題を共有して、挨拶をして終了となります👍

※聖餐式は牧師の司式の元、パンとぶどう液をイエス様が配餐して下さっていることを思い描きながら、其々の自宅で与ります。

クリスマス礼拝

- ★スカイプのお陰で日本に転居された方々も参加する事ができ、ミニ同窓会のような感じでした。
- ★特別賛美として、小松川教会のハンドベル・クワイヤーによる演奏動画を送って頂きました。
- ★クリスマスプレゼントは、オンライン上でお互いに御言葉を交換しました



最近のあれこれ

- ◆2年前、日本へ完全帰国された転勤族のご家族が、再度ケルンに赴任され1月に着任されました。以前もママの会に集っていたので、今回も早速にママの会と礼拝に参加されています。学び会のテキストをご主人と共に予習するそうで勉強家です。お住まいが教会員宅にも近いので、教会の方がさり気なくフォローしてくださっています。
- ◆同じくママの会に参加している方で、中学生の時に聖書に興味を持ち、図書館で借りて読んでいたそうです。改めて学たいとお申し出により、マンツーマンでじっくりと学んでいる最中です。聖書の御言葉が彼女に生きて働いています。
- ◆YouTube作成にあたり、経験のない私にとって撮影した動画を編集するには、教会員のご夫妻頼りでした。多大なご尽力に対して感謝のメールを送付した所、次のようなお返事を頂きました。「無事終えて幸いです。初めての長い映像の作業でしたので、まだ不足している部分もあると思います。でも夫と心込めて最善を尽くしましたことに私たちもやりがいを感じています。主の働きに参加できたことを嬉しく思っています。」このような信仰を持っておられるご夫妻を、主が私たちの教会に与えてくださったことを改めて感謝しています。次世代が育ち始められているような気がしてきました。主がどのように導いてくださるのか楽しみです。

現在の集会

★礼拝 14時～15時	スカイプにて
★聖書の学び会 毎週水曜日 10時～11時	//
★ママの子育ての学び会 第2水曜日 13時	//
★ママの読書会 第4水曜日 13時	//
★子どもとの聖書の時間 金曜日 15時	牧師宅
★聖書入門編 火曜日 13時	信徒さん宅

お祈りのお願い

今、教会は大きな転換期に入っています。次世代を担っていく方々が育ち、今後もケルンの地に教会が立ち続けてゆくことができますように

ママたちの会に集っている方々が、イエス様と出会う喜びを体験することができますように

ちょこっとコーナー

こんな時に限って

今迄ドイツでは頭の天辺から足の爪先迄、あらゆる病院通いをしました。しかし歯科だけは免れ、日本に一時帰国した際にメンテナンス程度で、「歯医者は日本」と決めていましたが、帰国できない今年に限って行く羽目に…。

初めての場所、しかも方向音痴な私なので、携帯のナビを利用しましたが、それでも迷いました。側を歩きかう人々に携帯が示している場所を見せて尋ねましたが、誰も分かりません。早めに家を出たにも拘わらず、予約時間は迫り冷や汗が出てきました。

その時、初老のご婦人が通られたので、同じように携帯を見せたところ、「眼鏡がないので、携帯は見えない」と言われ、またしてもダメかと。シュンとなった私を哀れに思われたのか「住所を聞けばわかるかも」と、助けてくださいました。分かり易く説明してくださり、ギリギリセーフで辿り着きました。

アプリは見えないからと立ち去ってもよかったと思いますが、そのような温かな心に触れて心地よい一日となりました。大変な思いをして辿り着いた治療は難なく10分程度で終わりました。

街角の市民図書館

ドイツはエコ先進国ですが、最近新たな発見をしました。街の所どころにロッカーのようなコンパクトな本棚が何気に立っています。ドアもついていて、頑丈にできています。

そこには、家庭で不要になった本が入っていて誰でも利用でき、無料でもっていく事ができます。どれも綺麗な状態です。

ここに本をもってきて、又、別な本を持って帰るというように、不要になった本もフル活動です。スバラシイ仕組みですが、私はこの時期、コロナ感染の事が気になってしまいます。



くじけそうに

ドイツにある外国語教会の会議が年に4回開催されます。現在はコロナ禍の為にZoomで行っています。

各教会の状況、課題等、様々な話題へと広がります。2時間という長い時間の中では、何の話??? ついてゆけずに孤独に陥る時もしばし…

最近ドイツ人との会話が楽しくなってきたので、少しはドイツ語が上達したと喜んでいましたが、それは大きな勘違いで、矢張りできない…と、落ち込むのです。

しかし、ここで諦めては末練が残るので、出来ている事に目を向け、勘違いでも何でもその気にさせています。

～ドイツ語の覚え方 鯖を買う時には～

- 1.鯖は身体に良いので ○ 「まる」
- 2.その「まる」が欲しいので「くれー！」
- 3.仕上げに「る」を抜かして、最後に「れ」を加えて「マクレーレ・Makrele」というドイツ語に完成！

このように何かにこじつけないと単語を覚えられないので、苦肉の策です。このレベルですから、会議などは、とて、とて、トホホ なのです。

スーパーでは生魚は殆ど扱っていないので、朝市の新鮮な魚は宝！特にサバ・鯖・マクレーレ！

週によって魚の種類も違うので楽しみ！

時には訳の分からない魚を買ってしまうことも…



毎週水・土曜日に立つ朝市
魚屋さんと友達になりまし

